

参考

1 「父の日」とばら

この行事の由来は、1910年（明治43年）にアメリカのワシントン州ケインズに住む、ジョン・ブルース・ドット夫人が父親にばらを贈って感謝の意を示し、「父の日」を提唱したのが始まりであり、シンボルフラワーがばらとなっています。

日本では、1953年（昭和28年）に兵庫県西宮市で、同県連合婦人会が6月の第3日曜日を「父の日」に決めたことから全国に普及しました。

2 贈呈団体「愛知県花き温室園芸組合連合会ばら部会」の概要

県内の主なばらの生産者33名からなる組織で、後継者が多く、ロックウール栽培等新技術や新品種の導入に積極的に取り組み、高品質のばら切花を生産しています。

本県のばらの産出額は、25億円で、全国の13.4%を占めており、平成5年から全国一位を誇っています。

順位	県名	産出額（億円）	シェア（%）
1	愛知県	25	13.4
2	静岡県	16	8.6
3	福岡県	14	7.5
4	山形県	14	7.5
5	群馬県	9	4.8
全国計		187	100

注：農林水産省統計部資料（平成25年）

3 フラワー・ガーデニングショーとは

平成27年3月26日から29日までオアシス21及び県芸術文化センターを会場に開催し、ガーデニングやフラワーコンテスト、園芸講座等のステージイベントの他、花き及び花き関連資材の販売展示PRを行い、来場者15万3,500人に暮らしに花や緑を取り入れる方法等を紹介しました。

4 贈呈されるばら「タージマハル」について

「タージマハル」は、1輪咲きの品種であり、花の色は、外側が濃いピンク色で、中心にかけてやや淡くピンク色が広がっていきます。花びらは先端が尖った剣弁咲きであり、紅茶のようなソフトで上品な香りがします。

5 ばらを使用したローズウォーターについて

日本で初めて有機JASの認定を受けたベルバラ園のばらを使用して作られたローズウォーターで、原料のばらは、「イヴピアッチェ」という香りが良い品種を使用したものです。

ローズウォーターは、ばらから香りと水分を抽出したもので、香水、化粧水や加湿器に含ませて使用することができます。加湿器にローズウォーターを含ませて使用すれば、部屋の中に穏やかな香りが広がります。